Product Liability NEWS

jtdna 検索

4号

11.Apr.2014

JTDNA®

【発行所】
特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-22-5 パークスビル 2F
☎03-5875-6175　FAX：03-5875-6176
✉c-japan@jtdna.or.jp

協会からのご報告

平素は当協会活動に深いご理解とご協力を賜りありがとうございます。 当協会は平成26年4月で第9期となります。
当協会の活動も「正しく製品を使用して誤使用によるトラブルをなくし、 結果として誤使用による事故を防ぐ」という初期の目標について、 多くの事業者に賛同をいただき、 多くの実績を積み上げることができました。
一方、 国のリコール法整備が進む中、 PLD（製品事故発生後対策）の主軸として、 一昨年から各方面のご協力をいただきながら検討を重ねてきたリコールに対する具体的な有効策について、 本年のシンポジウムで成果の一部を発表させていただくに至りました。 すでに賛助会員間でこの実証に向けた取り組みが開始されています。
4 年前から東北工業大学ライフデザイン学部安全安心デザイン学科にて年2回の講義、 そして PL 検定を菊地良覺教授のご指導で実施してきました。 今年よりこの学科にて新しい研究室が立ち上がり、 日本で初めて学術的な研究テーマとして Product Liability が取り上げられます。 11月には日本で初めて、 その研究成果などを発表する、 大学主催のシンポジウムが予定されています。
以下、 25年度の事業報告と26年度の事業計画をご報告します。

平成２５年度の事業総括

平成24年度より製品事故発生後対策（PLD）について，小売業界（カタログ通販、 量販店、 スーパー）、さらに輸入事業者、 国内製造業などの実態調査を行って来ました。 製品安全の取り組みは、 いずれの業界でもPLP（事故予防策）について全社取り組みをしている企業とそうでない企業の差が大きいのが現状です。 取扱説明書の品質向上を志向する企業においては、 事故発生後対策にも積極的に取り組んでいます。
平成25年1月より、 JAN コードなど、 流通管理コードを所管する一般財団法人流通システム開発センター国際部のご協力を得て、次世代 QR コードである GS1QR コードにて、 モバイルコンテンツとして実使用者にダイレクトに安全情報を伝える方法の研究を、 当協会賛助会員の協力のもと、 開始しました。 その報告は本年度のシンポジウムで公表します。
一方、 人材育成（教育）としての PL 検定は、 遠方の企業の負担を軽減するために、3級において web 検定を開始しました。 未だいくつかの整備を要としますが、受験された方、 企業からは一定の評価をいただいています。
その他、 取扱説明書ガイドライン、 検証プログラム、 協会の証明印発行などのフローも、 賛助会員の大手通販などが注目され、 品質管理の一環として利用するなどの取り組みが開始されています。

平成２６年度の事業計画

昨年度の結果として、 実使用者を特定する方法などが具体的に試験運用を開始したことを受け、 PL 対策については、 経済産業省製品安全課の策定した「製品安全ガイド」などに示された下記事項を具体的な取組み内容と位置づけ、「最新！ PL 対策解説書」や「取扱説明書ガイドライン」などの大幅な改訂を予定しています。
①技術的安全検証の方法や事例
②企業の品質管理に組み込むことを前提にしたリスクアセスメントや社内基準などの策定の情報データベース化。 例えば、今回のシンポジウムで行う「倒れるリスク」に対する一般評価などの蓄積。
③製品寿命， 経年劣化などの実証事例など

寄付のおねがい

当協会は寄付金と会費で運営されています。
皆様の善意の寄付や会費で、消費者安全に関わる具体的取組みを行っている団体です。 詳しくは協会ホームページにアクセスしてください。＞＞＞

INDEX

1ページ・・・・協会からのご報告
2ページ・・・・協会からのご報告
　　各地の報告
3ページ・・・・協会事業について
4ページ・・・・シンポジウム式次第

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

各地の取り組み

協会からのご報告（続き）>>

④製品事故による被害者救済支援の強化
⑤QRコードを活用したPL対策の普及
⑥賛助会員を基軸にしたリコール対策の普及促進
⑦製品事故相談対応の拡大（事業者・被害者）
⑧PL対策解説書及び取扱説明書の改訂
⑨セミナーの開催
　東京　5月・7月・9月・11月・1月
　大阪　5月・11月・1月
⑩PL検定のシステム、サイト、テキスト整備。協力団体・企業を上半期中に決定し普及促進を図ります。

■東日本地域の活動報告■

東北工業大学では、学生への製品安全教育に際し、当協会と連携して講義やPL検定を実施、4年を経過しました。初回の受講生はすでに社会に巣立っています。
受講した学生たちからは「普段当たり前のように使っている便利な家電製品を、製品安全の眼で見る事を学び、潜んでいるリスクを読み取る経験を持てた」とレポートで報告しています。このような勉強をした学生が社会人となり、企業の製品安全取組みには大きな影響を与えます。

東北工業大学では、これ迄の取り組み成果を元に、2014年度にライフデザイン学部安全安心生活デザイン学科に担当の教授を配置し、当協会の理事長である渡辺吉明を客員研究員とし、PL の学術的研究と学生教育を進める体制の準備を進めています。
秋にはシンポジウムを予定し、2016年度開設を目標に製品安全の講座を計画しています。
仙台では、毎月一回の予定で会員が集まり PL 対策の勉強会を開催しています。3月は23日（ 水 ）には、仙台市富沢市民センターにて、「最新！ PL 対策解説書2013 年 web 版」の学習を行いました。
「PLNEWS3号」で紹介されていたアクリフーズの事件も話題になり、特に PL保険の内容などにも意見交換がされました。

PL対策の講義（3年生）

東北工業大学シンポジウム開催予定会場

■西日本地域の活動報告■

西日本地域では、大阪を拠点として月一回の会員勉強会を行っています。3月に行った勉強会では、会場の近くにある福祉・介護用品の展示施設を訪問しました。

［ATC エイジレスセンター］

各メーカーの福祉・介護用品を体験できる展示物もあります。
例えば、普段街中で見かける車いすや電動カートも、実際に自分で体験してみないと扱い方やリスクは分からないものです。今回、参加者全員が車いすや電動カートの乗車体験をしました。段差を乗り越えたり、開閉ドアの開け閉めを行ったり、実際の使用者の苦労しました日常で使用するとなると、施設やサポート機器などのあらゆるリスクを想定し、いわゆる想定外というリスクを低減させることが、重要になると参加者全員、理解できたと思います。
製品リスクを考えたり、表示を検討したりするにも、使用環境や様々な使用状態や環境を想定しないと、実際の安全対策に至りません。その後、場所を移動し表示やリスクについて意見交換しました。
安全性を最優先した設計、社内体制や PL 対策など、多角的視点で「あんしん、安全」を見直すためにも、勉強会継続し、結果を情報として取りまとめ、協会の SNS などを利用し、情報共有したいと考えています。
（報告者：田上）

【会員の PL 勉強会（大阪）予定】

5/21　会員事例発表、シンポジウム報告　（全会員）
6/18　会員事例発表、社会動向の掘り下げ（正会員）
7/23　会員事例発表、社会動向の掘り下げ（正会員）
8/20　会員事例発表、社会動向の掘り下げ（正会員）
9/24　PL の基礎、社会の動向（ 初心者、一般含む）
10/22　情報交換会イベント
11/19　会員事例発表、社会動向の掘り下げ（正会員）

※会員事例発表は、各会員の PL に関する研究事例や取り組み事例を共有研鑽する場です。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

JTDNA®
PLnews
2014年4月号

新年度協会事業について

■認定事業者について■

当協会では一般事業分野については、積極的に賛助会員に取り組んでいただけるよう、認定事業者制度を実施しています。内容については、第三者委員会として認定委員会を定期的に開催し、公平な立場で基準を策定見直しなどを行っています。
委託内容は下記の通りです。

【1種認定事業者】
- 事故相談（事業者及び被害者）
- PL 対策の相談対応と具体的支援
- PL 検定の実施
- 取扱説明書改善などの相談と改善アドバイス
- 広告媒体のコンプライアンス上の相談と改善アドバイス
- 証明印申請及び受け渡し
- 新規認定事業者の指導・講習
- セミナーや懇談会・専門講習などの開催や正会員の指導等

【2種認定事業者】
- 賛助会員の相談対応
- 取扱説明書改善などの相談と具体的支援
- PL 対策の相談対応と具体的支援
- PL 検定の実施
- 証明印申請及び受け渡し
- 新規認定事業者の指導・講習
- セミナーや懇談会・専門講習などの開催や正会員の指導等

【3種認定事業者】
- PL 検定の実施
- 証明印申請及び取り次ぎ
- PL 対策の相談取り次ぎ
- セミナーや懇談会などの開催等

※認定要件、費用などは各種別ごとに異なります。
詳しくは協会事務局にお問い合わせください。

■PL 検定■

当協会では、製品安全対策、特に「事業者の販売後の民事上の責任である Product Liability の領域（設計製造に関わる法律や基準などを除く）」について、PL 検定を実施しています。
昨年から3級については web 受験を実施し、いつでもどこからでも、平常業務に支障を来さず知識レベルの結果判定ができます。既に全社員に受験させ、特に管理職は2級を受験合格を昇格条件にしている企業もあります。下記などにご利用いただき成果を上げています。PL について、日本ではこの協会だけが検定を実施しています。
本年度は、この取り組みをより広範囲に進めるために、特別会員の学識経験者、法律家などに監修協力をお願いし、PL 検定用公式テキスト発行などを予定しています。

- **社員の製品安全知識の客観的評価**
- **品質管理やデザイン、お客様サポートなどの担当者の専門知識レベルの確認**
- **製品事故に関わる担当者のレベル向上**
- **団体などの会員に対する支援事業など**

■部会について■

当協会の会員（法人は賛助会員、個人は3級合格者は準会員、2級合格者は正会員、1級合格者はインストラクター）がより具体的にスキルアップするために、本年度から部会を強化し、セミナーなどで成果報告、意見交換を実施します。

①リコール対策研究部会（現在の QR コード関連部会を組み込む）
②取扱説明書等検討部会（ガイドライン改訂、データベースなどの取り組み）
③被害者救済活動検討部会（PL アドバイザーの実務）
④製品安全デザイン研究部会（本質安全設計に関する技術的検討）
⑤媒体検証検討部会（従来の薬事などを含む媒体検証ガイドラインの見直しなど）
⑥知的財産等研究部会（著作、特許などを含むデザイン上生じる知的財産権についての研究）

Copyright © JTDNA All Rights Reserved.

[第６回] JTDNA 製品安全シンポジウム 2014 式次第

JTDNA®

開催日　平成 26 年 4 月11日　会場　サンシャインシティ文化会館5階 501 ホール

特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会

12:30	受付開始
13:15	開催挨拶と事業報告など ・事業報告　理事長　渡辺吉明 詳細は当 PLnews1～2ページ参照
13:30	来賓ご挨拶 消費者庁消費者安全課事故調査室　課長補佐（総括担当）片山貴順様 ①消費者安全調査委員会の概要 ②調査委員会調査中の事案 ③ガス湯沸器事故評価書の概要
14:00	基調講演1 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）製品安全調査課専門官　山田秀和様 「消費生活用製品のリコール情報」
14:30	基調講演2 一般財団法人流通システム開発センター国際部主任研究員　市原栄樹様 「グローバル環境におけるモバイル標準化の動向」
15:00	**休憩**　会場後方にて賛助会員の取り組みなどが展示されています。
15:15	製品事故事例検証 「本年発生した重大事故について、製品欠陥の有無を参加者と検証します」 ・事故の概要 ・製品の検証（アンケート記入） ・製品欠陥の有無とリコールの必要性可否
15:45	リコール対策について ・リコールの現状 ・実使用者特定に向けた取り組み事例 ・今後の課題など
16:15	終了挨拶　理事　田上哲也
16:30	終了

【パネリスト】
NITE専門官　山田貴順様
GS1Japan 主任研究員　市原栄樹様
（株）ベルーナ法務部　廣瀬　暁様
コーディネーター　JTDNA理事長　渡辺吉明

※製品事故事例検証ついては被害者、担当弁護士の同意を得ています。一般的には誤使用と判断される事故について、会場参加者と登壇者にて検証し、設計上の欠陥や指示警告上の欠陥などを考えます。アンケートは集計し、当協会の公式サイトとメルマガにて公表し、安全な製品に対する評価結果としてご利用いただきます。

※開催内容についてのご意見などはアンケート裏面にご記入ください。

※シンポジウムでは時間に限りがあります。各テーマなどのより詳しい内容はセミナー（5月より開催）にご参加ください。

※平日10時～18時に本部（池袋）にて無料相談を受け付けています。ご利用ください。

Copyright © JTDNA All Rights Reserved. 2014.4.9